



0歳から入れる

うまのひ ファミリーコンサート

7/18
月・祝

邦楽四重奏団 in 佐倉

えん そう きょく もく
演奏曲目



りゅうきゅうみんよう
琉球民謡による組曲 牧野由多可

やちよじし
八千代獅子 藤永検校

こういか
甲鳥賊 川上統 (2020 委嘱作品)



ほか



令和4年

7月18日 月・祝

佐倉市民音楽ホール

開演14時(開場13時)

★チケット(全席指定)

一般: 2,000円 U-30: 1,000円

高校生以下: 500円 3歳以下: ひざ上無料 (3歳未満でもお席が必要な場合は有料)

※障がい者1名様につき介助者1名様は無料でご鑑賞いただけます。(千葉県文化会館へお問い合わせください。)

★プレイガイド

千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

千葉県南総文化ホール 0470-22-1811 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

主催: CHIBA 公益財団法人 千葉県文化振興財団



アクセス情報はここから
佐倉市民音楽ホール



ネットご予約は
こちらから



©ヒダキトモコ

この音声コードをスマホアプリ
(Uni-Voice) で読み取ると音声情報で
ご確認いただけます。



助成: 文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

後援: 千葉県・四街道市教育委員会・酒々井町教育委員会

Hougaku Quartet 邦楽四重奏団



WEBSITE



©ヒダキトモコ

2011年春、東京藝術大学邦楽科卒業の四人（箏・三絃・十七絃：平田紀子／寺井結子／中島裕康、尺八：黒田鈴尊）により結成されたカルテット。

「日本の伝統楽器で“今”と“これから”の音楽を創る」というコンセプトのもと、「作曲家への新作委嘱＝“今”と“これから”の邦楽を探索するための作曲家との共同活動」、「1960年代以降に作曲された現代邦楽名作群の再演」、そしてそれらの根幹となる「伝統的な三曲合奏（三絃・箏・尺八による古典合奏）」の三つの視座から活動を展開し、これまでに12回の定期公演を東京で開催している。

2015年NHK-FM放送「邦楽のひととき」にて野田暉行／松の曲（1976）を演奏。

2016年11月には1stCD「邦楽四重奏団 野田暉行邦楽作品集」（コジマ録音 ALM RECORDS）を発売し、『レコード芸術』（音楽之友社／2016年12月号）にて特選盤、『音楽現代』（芸術現代社／2017年1月号）にて推薦盤に選ばれる。

同年「邦楽四重奏団ブレイズ 下山一二三 邦楽個展」（企画：山本和智）、2017年「未来に伝える三善晃の世界Ⅱ」に出演、2017年にはニューヨーク公演（Asia Society・国際交流基金主催）を開催。2019年真庭市久世エスパセンターでの三井住友海上文化財団ときめくひととき公演出演。2020年札幌コンサートホール kitara ランチコンサート出演、蔵王町ふるさと文化会館での三井住友海上文化財団ときめくひととき公演出演。

平田 紀子 Noriko HIRATA

大阪府出身。永田文子、深海さとみに師事。東京藝術大学卒業。在学中、宮城賞受賞。卒業に際しアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。宮城道雄記念コンクール・賢順記念くめ全国箏曲祭コンクール・利根英法記念邦楽コンクールで1位受賞。アンサンブル室町「東方綺譚」公演で第13回佐治敬三賞受賞。CD「この音とまれ！時瀬高等学校箏曲部」で第72回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。日本音楽コンクールをはじめとする作曲コンクールでの審査演奏に携わる。音楽祭、シンポジウムなどで各種箏の独奏をつとめ、様々な国の邦楽作品を紹介しながら邦楽の魅力と音楽性を発信することに力を入れている。

日本音楽の教育と研究をつなぐ会員。箏曲宮城会教師。2015～17年度東京藝術大学教育研究助手、18～19年度同大学非常勤講師。

寺井 結子 Yuiko TERA I



福島市出身。遠藤千晶に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中宮城賞、同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程修了。NHK邦楽技能者育成会第55期修了。第17回賢順記念くめ全国箏曲祭コンクール第2位受賞。NHK邦楽オーディション合格。NHK-FM「邦楽のひととき」「邦楽百番」出演。

「和楽器ルネサンス」（2018年）にて一柳慧作曲「密度」を、「ぎふ未来音楽展」（2019年）にて『秋の連歌—箏独奏のための—』『臨界域—三絃独奏のための—』を演奏し作曲家自身の助言を受け研究、研鑽を積む。これを契機に一柳氏の音楽に共感を覚え、2021年にCD「寺井結子ブレイズ—一柳慧邦楽作品集」（カメラータ・トウキョウ）を発売。『レコード芸術』2022年1月号にて「特選盤」、『音楽現代』2022年2月号にて「推薦盤」、読売新聞や朝日新聞でも取り上げられる等、現在好評発売中。古典から現代作品まで幅広く取り組むと同時に、邦楽の普及のための教育活動も積極的にに行い、日本独自の音楽の魅力を広めるために活動している。

生田流箏曲宮城社大師範。（公社）日本三曲協会所属。

中島 裕康 Hiroyasu NAKAJIMA

後藤すみ子、樋口雅礼瑤、浜根由香の各氏に師事。東京藝術大学卒業。大学卒業時に皇居桃華楽堂にて御前演奏をする。第38回茨城県新人演奏会新人賞を受賞。第20回賢順記念くめ全国箏曲祭コンクール賢順賞受賞。NHK-FM「邦楽のひととき」、NHK-Eテレ「にっぽんの芸能」に箏独奏で出演。2016年に「第1回箏リサイタル」を東京文化会館で開催。新橋演舞場に於て市川猿之助「黒塚」、歌舞伎座にて人間国宝・坂東玉三郎「楊貴妃」「二人静」、市川海老蔵「雪月花三景」に出演。2018年「第2回箏リサイタル」を浜離宮朝日ホールで開催。2021年東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C バッハからコンテンポラリーへ」出演。2021年「第3回箏リサイタル」を東京文化会館で開催。同年秋より茨城、群馬、長野、山梨、富山で「箏リサイタルツアー 2021～2022」を開催。正派邦楽会師範（雅号：中島雅裕）

黒田 鈴尊 Reison KURODA



人間国宝・二代青木鈴慕、三代青木鈴慕に師事。早稲田大学人間科学部、東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。

第二回利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞受賞。国際尺八コンクール2018 in ロンドン優勝。

国際現代音楽祭・ARS MUSICAにて武満徹「November Steps」のソリスト。その他、山本和智、Claude Ledoux、Dennis Levaillant、Rafael Nasiff 各氏の新作尺八協奏曲を世界初演するなど、オーケストラと尺八による新たな音楽世界の開拓にも力を注ぐ。

世界中の音楽祭等での独演会や数多くの委嘱、ジャンルを横断する活動を通じて、尺八の今とこれからの無限の可能性を追求している。アンサンブル室町（佐治敬三賞受賞）、邦楽四重奏団、1÷0、RigarohieSメンバー。令和元年度文化庁文化交流使。